

あかちよっちゃん

【作詞】喜多条正
【作曲】南こうせつ

□□□

あのころふたりのアパートは
裸電球まぶしくて

貨物列車が通ると揺れた
ふたりに似合いの部屋でした
覚えてますか寒い夜

赤ちようちに誘われて
おでんを沢山買いました
月に一度のぜいたくだけど
お酒もちよっぴり飲んだわね

雨がつづくと仕事もせずに
キャベツばかりをかじってた
そんな生活がおかしくて
あなたの横顔見つめてた
あなたと別れた雨の夜
公衆電話の箱の中
ひざをかかえて泣きました
生きてることはただそれだけで
哀しいことだと知りました

今でも時々雨の夜

赤ちようちゃんも濡れている
屋台にあなたが

いるような気がします

背中丸めてサンダルはいて

ひとりでいるような気がします

あかちようちん

【作詞】喜多条正
【作曲】南こうせつ

□□■

あのところふたりのアパートは
裸電球まぶしくて

貨物列車が通ると揺れた
ふたりに似合いの部屋でした
覚えてますか寒い夜

赤ちようちに誘われて
おでんを沢山買いました
月に一度のぜいたくだけど
お酒もちよっぴり飲んだわね

あかちようちゃん

【作詞】喜多条正
【作曲】南こうせつ



雨がつづく仕事もせずに
キャベツばかりをかじってた
そんな生活がおかしくて
あなたの横顔見つめてた
あなたと別れた雨の夜
公衆電話の箱の中
ひざをかかえて泣きました
生きてることは
ただそれだけで
哀しいことだと知りました

あかちようちん

【作詞】喜多条正
【作曲】南こうせつ



今でも時々雨の夜
赤ちようちんも濡れている
屋台にあなたが
いるような気がします
背中丸めてサンダルはいて
ひとりでいるような
気がします